

《巻頭言》

発刊の辞

水田宗子

国際文化教育センター所長

学校法人城西大学国際文化教育センターは、学術研究の充実と国際的交流、学生の海外教育プログラムの強化などを目的として、1985年春に創設され、城西大学および城西国際大学における国際化の推進を担って、多くの成果をあげてきた。また、センターは、地域市民が参加するコミュニティ・カレッジのプログラムの企画・実行にもあたってきた。

センターの研究部門（国際文化研究所）は、各学部の教授・助教授・専任講師からなる研究員および主任研究員によって、日本文化研究、比較文化研究、女性学研究を軸とする研究活動と学会活動を進めてきた。

日本文化および比較文化研究では、1986年秋に、日本の社会と文化の諸問題を表現する論稿を英訳して海外に発信する、英文誌・REVIEW OF JAPANESE CULTURE AND SOCIETYの第1号を発刊し、以後、毎回テーマを設定して、各年毎に発行してきた。また、女性学研究では、1989年春、スタンフォード大学ジェンダー研究所と共催して、第1回環太平洋女性学会議を行って以来、現在まで三度にわたって会議と国際シンポジウムを主催し、環太平洋地域の各国から多くの研究者が参加するなど、着実な成果を積み重ねてきた。研究員を中心とした女性学研究会は、定期的な研究会と会報（『Rim』）発行などを行っている。

センターでは、この度、研究員がそれぞれの領域における研究の成果を発表できる場として、『JOSAI INTERNATIONAL REVIEW: 国際文化研究所紀要』を創刊し、英文誌とともに年1回、定期的に刊行することとした。多様なジャンルにわたって、創造性に富む論稿が寄せられることを期待する。また、この研究

メンバーによって取り組まれている意欲的な共同研究の成果が、本誌を通してあきらかにされていくことを期待している。

(1995. 1. 15)